



新年のご挨拶

資源循環事業活動報告  
ゼロエミッション研究会

森林再生事業活動報告  
日向の森、あいち海上の森

## 新年のご挨拶

旧年中は皆様からの温かいご支援とご協力をいただき、誠にありがとうございました。

気候変動が世界に及ぼす脅威は留まることがなく、資源循環事業と森林再生事業に取り組む公益財団法人として、引き続き、脱炭素社会ならびに生物多様性に貢献していく必要があると考えています。

資源循環事業では、「食品リサイクルループの構築と拡大」を最重要課題に据えて取り組んでいます。2023 年度中は東京都大田区での構築を行い、2024 年度には再生利用事業計画の認定を取得し、大田区外の区に食品リサイクルループの輪を拡大していけるよう準備を進めています。これは多様な食品関連事業者が共同で食品リサイクルループに取り組み、外食業だけでなく、小売業や宿泊業など業種の垣根を越えた取り組みです。これからも自治体、食品関連事業者、再生利用事業者（リサイクラー）、生産者、そして消費者との協働でサーキュラーエコノミーの実現に取り組んで参ります。

森林再生事業では、現在 5 地域 86ha で森林保全協定を結んでおり、各地域の状況やそれぞれの森林の状態に合わせた活動を継続して参りました。

昨年 11 月 30 日に SEF は、陸前高田市とワタミエナジーとで新たに「森林資源の活用に関する連携協定」を締結しました。本協定は相互の連携を強化し、森林再生を通して、森林クレジットを創出し、活用する取り組みと事業者が陸前高田の市有林で森林活動・生物多様性保全の活動の場とする取り組みを行います。

また、来年度からは新たな取り組みとして「森林アカデミー」を開講します。脱炭素に取り組むだけでなく、生物多様性の損失を食い止め、回復させていく必要があ



ります。そこで、SEF では、森林再生保全を通して、生物多様性保全をし、自然共生サイトへの登録や今後事業者の開示が進む TNFD について体系的に学ぶ場を提供するほか、森林クレジットなど脱炭素社会への貢献を通して企業の価値向上につなげる勉強会を実施します。

本年も引き続き、気候変動対策だけでなく、生物多様性に貢献する森林保全活動を行って参ります。

SDGs の目標年度まで、あと 6 年となりました。美しい地球を未来の子どもたちに残していくためには、一人一人が地球環境の大切さに気づき、意識を変えていかなくてはなりません。事業を通して社会に影響を及ぼす存在になれるよう、SEF は、資源循環事業では食品リサイクルループの構築と拡大、森林再生事業では森林保全活動と森林アカデミーを今年も精一杯取り組む所存です。

輝かしき新春を迎え、皆様のご多幸をお祈り申し上げますとともに、一層のご支援をいただきますようお願い申し上げます。

公益財団法人  
Save Earth Foundation  
代表理事 渡邊 美樹



<ゼロエミッション研究会とは>

当財団では、ゼロエミッションの実現に向けて、2017年より食品小売業・外食産業の店舗から発生する廃棄物(特に食品循環資源)の発生抑制・資源循環・適正管理の手法を学ぶ場として、「ゼロエミッション研究会」を開催しています。

## 第4回ゼロエミッション研究会

11月30日(木)2023年度4回目となるゼロエミッション研究会を開催しました。71名の方にZOOMとのハイブリット勉強会にご参加いただきました。今回は企業で食品リサイクル推進を実践するワタミ株式会社の柳原氏にお越しいただき、食品リサイクルを推進するにあたり、社内でどのように合意を得ていったのか、実際にどのように現場に落とし込んでいったのか、担当者目線でのお話をいただきました。

### 食品リサイクルと廃棄物コストの削減

ワタミ株式会社 柳原 拓海 氏

第4回ゼロエミッション研究会では、排出事業者の社内で食品リサイクルを推進する立場の方も多くいることから企業事例の共有をテーマに、ワタミの店舗で分別・計量の定着、食品リサイクルにかかるコストの抑制の実践など実際にどのように現場へ落とし込んで推進したのかをお話いただきました。



## 第5回ゼロエミッション研究会

1月17日(水)2023年度5回目となるゼロエミッション研究会を開催しました。85名の方にZOOMとのハイブリット勉強会にご参加いただきました。今回は毎年恒例となる環境関連法令をご専門とする弁護士 佐藤泉先生にお越しいただき、環境関連法令の最新の動向と事例の紹介と題し、ご講演いただきました。各種リサイクル法の現状や課題など事例を交えてお話しいただき、参加者からは勉強になったとお声を多数いただきました。

### 廃棄物関連法令の最新動向と事例紹介

佐藤泉法律事務所 弁護士 佐藤 泉 氏

循環型社会の法体系の説明から始まり、各種リサイクル法の現状や課題などポイントを押さえてお話をいただきました。また、プラ新法や専ら物の新しい通知についてなど詳しくわかりやすく解説をしていただきました。国内の動向だけでなく、海外の動向についてもお話しいただき、会の中でしか聞けない貴重なお話を多数いただきました。参加者からも勉強になった、社内研修に活かしたいとお声をいただきました。



## 2023年度ゼロエミッション研究会 参加者募集

### 【日程】全6回

- 第1回—5月17日(水)
- 第2回—7月20日(木)
- 第3回—9月21日(木)
- 第4回—11月30日(木)
- 第5回—1月17日(水)
- 第6回—3月28日(木)

【勉強会 会場】ワタミ株式会社 東京(大鳥居)本社

【参加費】70,000円

※賛助会員(民間団体)は無料

※別途:見学会交通費、遠方への個別相談時交通費

### 【講師】

- ・百瀬 則子氏  
(SEF業務執行理事、ワタミ株式会社SDGs推進本部長)
- ・志岐 秀明氏  
(SEF理事、株式会社ガイドリーム相談役)
- ・牛久保 明邦氏  
(SEF顧問、東京農業大学名誉教授)

ほか、資源循環・廃棄物関連専門家多数登壇予定

★概要をご確認のうえ、SEFホームページからお申込みください。 <https://save-earth.or.jp/archives/8599>

2023年11月から12月の森林保全活動 2023年12月31日現在

| 活動日 | 場所  | イベント | 参加人数   |     |
|-----|-----|------|--------|-----|
| 11月 | 11日 | 日向の森 | 定例保全活動 | 15名 |
|     | 18日 | 海上の森 | 定例保全活動 | 23名 |
| 12月 | 9日  | 日向の森 | 定例保全活動 | 13名 |
|     | 23日 | 日向の森 | 定例保全活動 | 16名 |

2023年4月～2023年12月末までの累計

日向の森 **294名** あいち海上の森 **46名**

## ◎日向の森(千葉県山武市) 活動報告

11月11日(土)の活動は、民間のボランティア参加、過去最多になりました。そのため、午前中は全員で間伐材計7本を手分けして搬出しました。

直径を計測したところ、20センチから32センチまでの大きさでした。これらは、加工し木材利用していきます。来年度植樹する場所の事前整備を実施しました。斜面が急な場所ですが、90分程度で2/3程度草刈完了しました。刈った草や除伐した木は数か所にまとめて片付けました。10人程度が毎回参加や若い人も安定的に参加してもらえるようになったので、12月からは集中して間伐と木材搬出を行えるように計画していきたいと思えます。また、今後は休憩できるようなベンチや東屋設置を山武市へ提案し、いろいろチャレンジしていきたいと考えています。「本来あるべき森の姿」の事例として未来の子どもたちに見せられるような森づくりをしたいです。



12月9日(土)の活動は、終日間伐と危険木伐採作業、運搬作業を行いました。

今回は、サンプスギ2本を間伐、路面に傾いた危険な木を2本伐採し、合計4本伐採しました。まず目測で樹高がどれくらいか全員で予想を立てました。だいたい25～20メートルと予想しましたが、実際に伐採してから計測すると樹高はそれぞれ18メートルと20メートルでした。

伐採する方向を定めるために、ロープで固定して倒したい方向に引っ張りながら樹幹に切り込みを入れていきました。最後の切り込みを手ノコギリでボランティアの皆さんに体験して頂きました。午後はサンプスギの搬出作業と、

☑危険木の撤去を行いました。今年植樹した斜面に、大きく斜めに生えたヒノキを2本伐採しました。2本のうち1本は、かなり細く低木だったので、手ノコギリで伐採しました。



写真は12月23日の定例保全活動の様子

## ◎海上の森(愛知県瀬戸市) 活動報告

11月18日(土)の活動では、SEFの賛助会員である富士凸版印刷様と中部有機リサイクル様、ワタミ様、それぞれ社員がボランティアとして参加し、過去最多の参加人数になりました。開催時期がクリスマス前でしたので、森にある自然の素材を集めて、リースや雑貨を作成しました。

開始直前で雨が降り出し、気温も低くなったため、低体温症の危険も考え、ワタミの森まで行かず、道中でツルや木の実、葉っぱなどを集めることにしました。たくさんのツルが樹木に巻き付いていたため、ツルにロープを結び、全員で引っ張ってツルを取り出しました。実は、林業の中では真っ直ぐで太い樹木を育てるために必要な作業になります。道沿いには、アカメガシワという樹木に大きなツルが巻いており、様子を見る限り腐って倒れる恐れがあったため、ツルを取った後で除伐しました。

たくさんの自然の素材を森から集めたあとは、リースや雑貨作りを、全員で始めました。一度作業を始めると二時間はあっという間でした。皆さん大人子ども関係なく熱中してしまいました。

最後は、今回の体験は、「SDGs15：森のめぐみ。いろいろな生き物たちが住みやすくするためにはどうすればいいかを考えることができた。」「SDGs12：ゴミをできるだけださない生活をしましょう。ペットボトルを使わない、割りばしを使わないなどの工夫をしましょう。」でした。それらを全員に意識してもらうように呼びかけました。





## SEFでは、各地域での森林保全活動をお手伝い頂けるボランティアさんを募集しています。

千葉県山武市では原則として毎月第2・第4土曜日に定例活動を行っているほか、他地域でも年数回の活動を実施しています。

なお、活動実施にあたり感染症の拡大防止に最大限の配慮を講じてまいります。

下記リンクから確認事項等ご参照のうえ、ご参加をお願いいたします。

<https://save-earth.or.jp/archives/6783>

### <2024年1月/2月/3月の活動予定>

#### ●千葉県山武市(日向の森)

※引き続き、2018年の台風15・19号による被害を受けた人工林の復旧作業を中心とした活動を予定しています。

1月27日(土)

2月24日(土)

3月9日(土)、3月23日(土)

#### ●愛知県瀬戸市

(あいち海上の森)

1月20日(土)

2月17日(土)

※その他地域での活動予定については、SEF ホームページをご覧ください。

活動の詳細、お申込みはコチラ ▶▶ <https://save-earth.or.jp/event>

## 賛助会員・サポーター入会のご案内

SEFの活動は、皆さまからのご支援に支えられています。

「美しい地球を未来の子どもたちに残したい」。この思いにご賛同いただける皆様のご入会をお待ちしております。

|       |             |   |     |                        |
|-------|-------------|---|-----|------------------------|
| 企業・団体 | 会員特典        | <ul style="list-style-type: none"> <li>・食品リサイクルループ構築支援</li> <li>・「企業の森づくり活動」支援</li> <li>・廃棄物法令、食品リサイクル、廃棄物管理等の専門家による助言・指導</li> <li>・「ゼロエミッション研究会」など、各種セミナー等へのご招待・ご優待</li> </ul> |     |                        |
|       | 会員区分<br>年会費 | 特別賛助会員  | 1 □ | 500,000 円              |
| 個人    | 会員区分<br>年会費 | 賛助会員  | 1 □ | 50,000 円               |
|       |             | 資源循環サポーター   | 1 □ | 50,000 円(資源循環事業に用途を限定) |
|       |             | 森林再生サポーター   | 1 □ | 50,000 円(森林再生事業に用途を限定) |
|       | 会員特典        | <ul style="list-style-type: none"> <li>・「ゼロエミッション研究会」など、各種セミナー等へのご招待・ご優待</li> <li>・森林ボランティア活動参加者に千葉県産サンプスギ製「サポーター登録証」を発行</li> </ul>   |     |                        |
|       |             | 賛助会員  | 1 □ | 10,000 円               |
|       |             | 資源循環サポーター   | 1 □ | 1,200 円(資源循環事業に用途を限定)  |
|       |             | 森林再生サポーター   | 1 □ | 1,200 円(森林再生事業に用途を限定)  |

ご入会のお申込みはこちらから→<https://save-earth.or.jp/member/apply>

